

酒田市商業高校跡地活用基本構想（案）を拝見いたしました。

私は、このように感じました。学校で教わった言葉ばかり……。つまらない。ワクワクしない。

そこで、私が、「ほしい」「こうしたい」を**純粹に集め**、そこから、**逆算**で何かを守り、つなげていく事は出来ないか？と考えました。

つまり……。『往古来今』過ぎた時を保存、活かしながら、未来へつなげる、考える……。から、

「往古来今」**今を見つめ直す**と、過ぎた時も大事にすることが出来る……。へ。

では、今「ほしい」「こうしたい」は何か？

1. 生活が豊かになる出来事。取り組み。
2. 生活を脅かす物の解消。不安のない充実した環境。
3. コロナ期を経て、建物内ではなく、広域で多角的に利用が出来る施設。・・・です。

だからこそ、「文化財を有効活用して」的なアピールでは、全く！市民の心に刺さらないのです。

未来、人口が減るなら、より一人一人の希望に注目し、高齢化が44.2%に上るのなら、

より高齢者の希望に注目出来る。と、前向きに考えていきましょう。

また、中心街が車社会に不利で、居住人口が減少しているなら、

逆に、買い物、病院、健康維持施設が近隣に揃っていて、

高齢者が車なしで用足る街への変化を計画してみてもいいでしょうか。

個人的には、高齢化と人口減少ストップは別々に考えたほうがいいと思います。

一家族ではありますが、「ほしい」ものが違いますから。共存より共感重視でしょうか。



メイン市街と住宅街の（小都市的）区別を付け、**明確なビジョンにつなげる**ことが大切なのではないでしょうか？

キーワードは、差別化です。

- ・酒田の歴史物 → 意味のある、奥深き良き物ですが、他県他市に勝るでしょうか？ → 無理かも・・・。
 - ・酒田の食べ物 → 当然、大好き。どんどんアピールしたい。でも他県他市に勝るでしょうか？ → 微妙かも・・・。
 - ・酒田の物産業 → 誇れるものがある。 → またまた、他県他市に勝るでしょうか？ → 地味かも・・・。
- 仮に、
- ・すごい歴史物があったら、 → 自慢します。
 - ・人気の食べ物があったら、 → 自慢します。
 - ・負けない物があったら、 → 自慢します。

でも実は私、スキーしたことありません。鑑屋に入ったことありません。さくらんぼや寒だらも食べないで終わった年が幾度もありました。
(山形県人なのに) 地元で暮らすとは、案外こんなものです。

歴史物、飲食業、産業は、すべてが生活する上で、身近ではあるのですが、そこに力を入れると、自分の生活が豊かになるか？
と言われると、回ってくるまでに時差を感じます。

- だったら、
- ・時差を感じる豊かさではなく、直結した環境改善を！
 - ・酒田だけのものをもっと生かした、企画、実行を！
 - ・人を集め、実益が見える（構想だけで終わらず、市が協力する仕組みのある）街づくりを！と考えます。

では、実際に何を作って、どうしたいのか？というところ ⇒

1. 生活が豊かになる出来事。取り組み。
→ 話題に豊み、毎週のようにイベントが行われ、ワクワクする企画と取り組み。
2. 生活を脅かす物の解消。不安のない充実した環境。
→ 大雨時の冠水被害をなくし、海沿い街の地震対策と不安のない生活環境づくり。
3. コロナ期を経て、建物内で完結するものではなく、広域で多角的に利用が出来る施設。
→ 自然を活かし、健康に特化した施設の建設。

ズバリ！**新井田川の整備**です！！



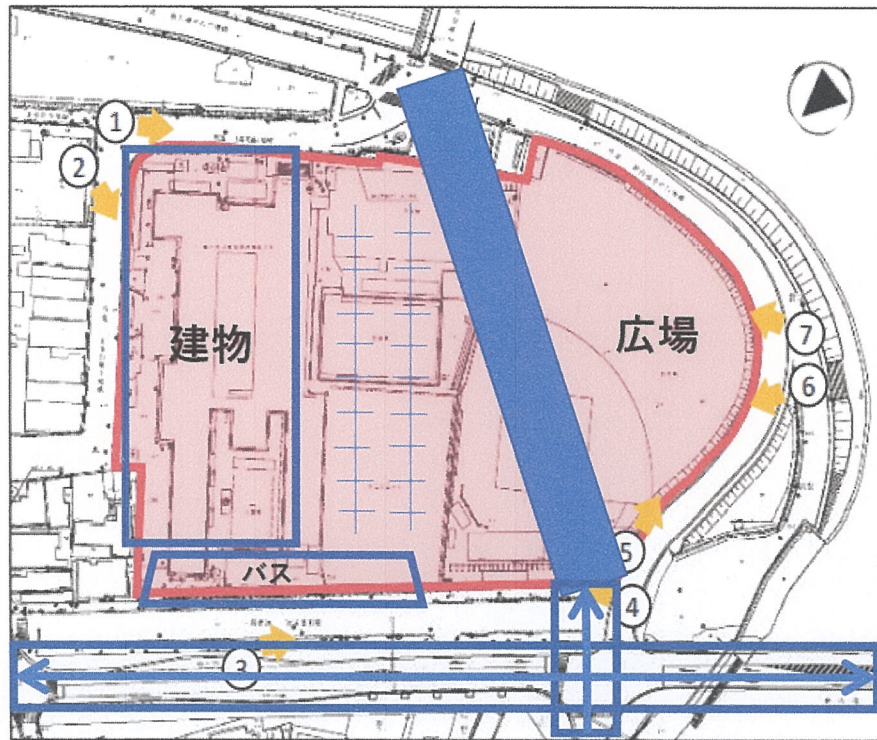
図1：旧商業高跡地と道路の再考

図2：新井田川沿い歩道の再考

図3：駅から山居倉庫と中心街への

流れの再考

【 図1：旧商業高跡地と道路の再考 】



※図：構想案より借用

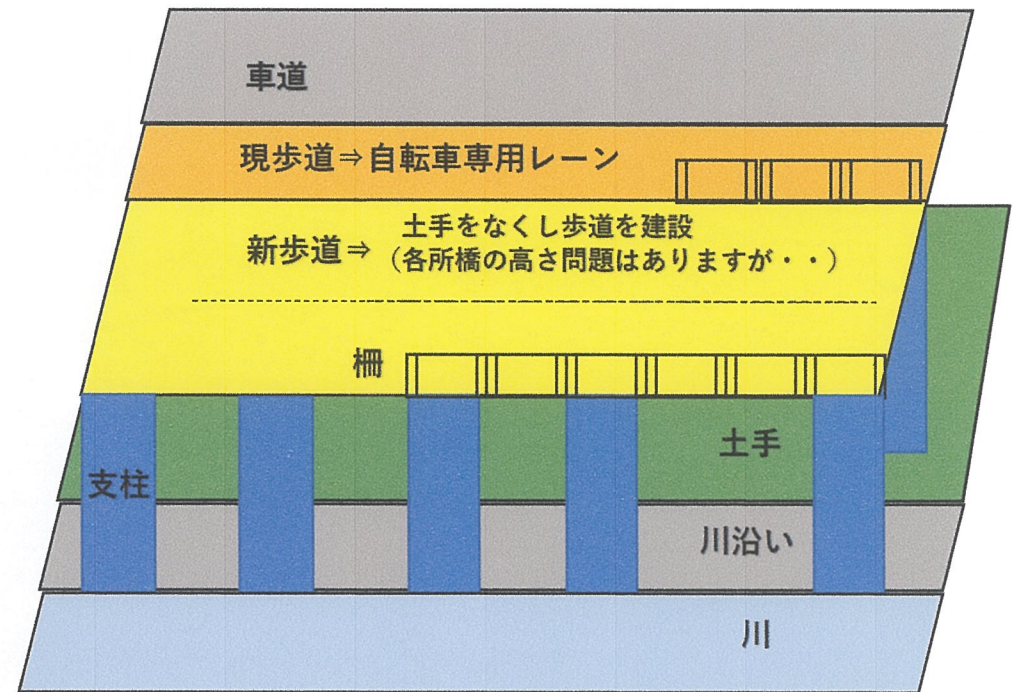
■ 新道路

川に沿った道は大型バスなどに不利で、一般車も運転しにくいです。交差点も複雑に見え、初めて訪れた方にも分かりづらと思います。

イベントや市民が自由に使える、広場的な自然多めな区域と、駐車場やバス往来に便利な区域に分けてはいかがでしょうか？

【 図2：新井田川沿い歩道の再考】

(イメージ)



■ 新歩道

郵便局側、浜田小から旧商業高前までに自転車レーンと新歩道を整備してはいかがでしょうか？

追記：対岸の桜並木側は増水時、階段の3段目まで水かさが増します。ゴミの流れ着きも多く、路面もポロポロになっていますので、川沿いのかさ上げと舗装が希望です。

図2について⇒案

【生活（日々の健康管理）のための多目的道路】観光、散歩、軽いランニングコースとして、川風を感じながら山居倉庫までぐるり。現在では、出張でホテルに宿泊するビジネスマンも、トレーニングウェアを持参する方が増えています。街の中心に川があるという好立地、自然とスポーツを取り入れるのに有効活用でき、ビジネスマンにも人気が出ると思います。

【新井田川のクリーンアップ】エリアに入れて整備し、美化に努めます。そして、屋形船やカヌー競技にも新井田川をもっと利用したい。アウトドアも主流となり、海が近い酒田では意外にカヌー人口があります。川沿いに住み、家の前から川に降りる人も見かけます。屋形船は、山居倉庫と桜がメインですが、夏は川が少し濁り、匂い、反対側はただの土手……。緑道（次ページ図3）を駅から流れるように山居倉庫へと続け、歩道は歩きやすいように整備、川辺（前ページ図2支柱）は壁画のようにしたら楽しいかも。

【交通利便改善】自転車、車の流れもスムーズにしたい。

出来れば、車道に自転車用レーンを整備します。

タクシーも酒田は予約や駅前待ちのハイヤー的物ですが、駅から土門拳記念館までは、常に走っていてほしい。（各タクシー会社への協力要請も必要です。）

【その他】少し別件ですが、酒田郵便局（本局）は、日々交通渋滞を起こしております。

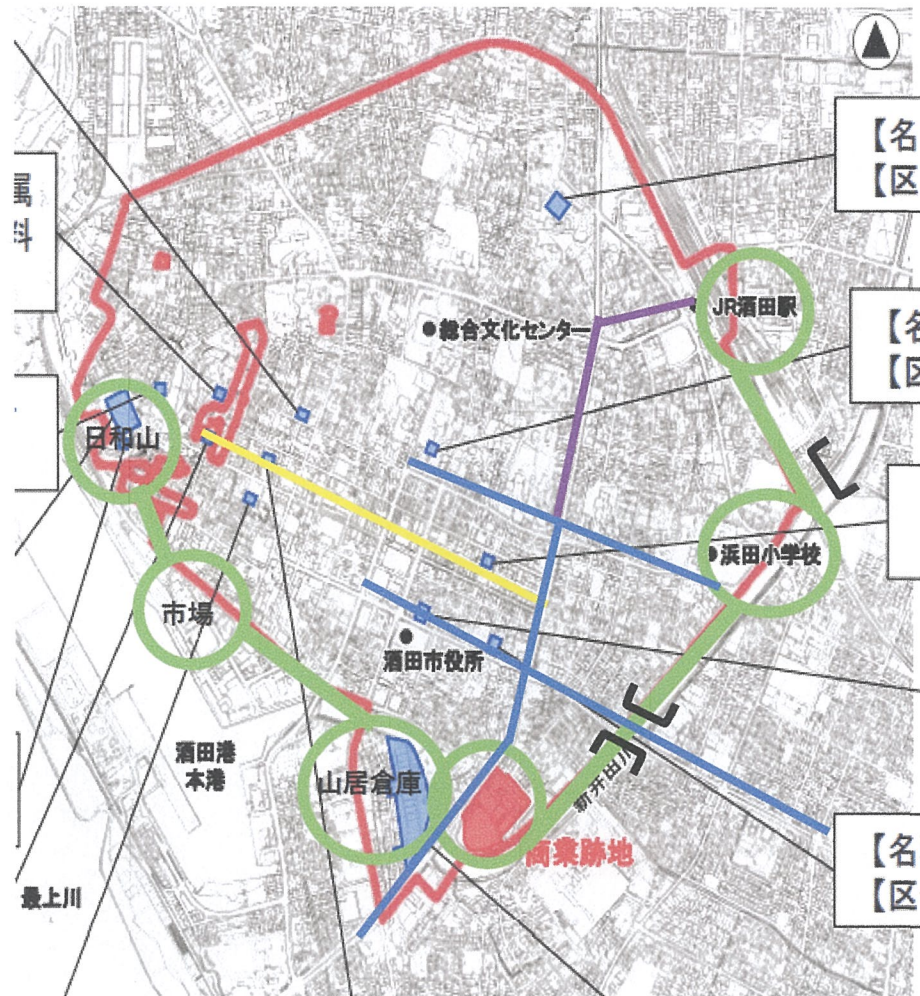
大型トラックの出入りに加え、一般利用者の往来が多く、駐車場位置にも難があるため、違法駐車も多く、危険に見えます。

（本案のルートをスムーズ化するため）市民のために、市で他地への企業誘致協力することも検討していただけないでしょうか？

添付写真削除

添付写真削除

【 図3：（整備による）駅から山居倉庫と、中心街への流れの再考について 】



※図：市構想案より借用

—— 紫色：駅⇒相生町

旧商業高跡地に商業施設の構想とありますが、駅前開発も長年、形になっていませんし、そこに飲食店やショップを作って、中町に客が流れますか？逆に取られるのではないですか？駅前への店舗誘致や街の活性化は独自に継続、なにより駅前を優先して行うべきと思われます。

そして、この紫道から中心街への集客を考えなくても、緑道広域から中心へと考え、駅から、空港から、バイパスから、どこからでも、さらに、一石二鳥も三鳥も考えたほうがいいと思います。また、相生町道の開発は皆無に近いと思われ、やはり、駅前一点集中で開発するべきです。

—— 黄色：中町商店街

とてもいい街ですが、シャッター街に音楽が流れている、さみしいイメージしかありません。

貸店舗企画があり、商工会議所でお話を聞いたことがありますが、建物のオーナーが上階に住居している場合も多く、取り壊して新規は少ないようです。また、老朽化とオーナーの高年齢化により、柔軟な貸出が進んでいない様子。

飲食店は増え、がんばっているようですので、このまま飲食とお祭りで乗り越え、夢応援店舗貸出というか、安めの貸出で新規店の応援の場になれるのもいいのではないのでしょうか？

図3について⇒案

【回遊性・魅力とにぎわいの創出】 駅から相生町を經由し山居倉庫までの、昔ながらのエリアしぼりをなくし（前ページ：紫道に記述）、駅から浜田小、新井田川を下り、山居倉庫への一本で流れるようなエリアに変更してみてもいいでしょうか。酒田祭りは山居倉庫を含めたお祭りになります。旧ルートでは中町を回るだけでしたが、清水屋前→市役所→川→山居倉庫→旧商業高→一番町→二番町（Uターン）→本町（本間家旧本邸前）→市役所→清水屋前と、現在よりもっと長く、広域で楽しめるようにルート変更すると、密集することなく、大きなお祭りのイメージになります。

図1について⇒案

【民間事業者とのスキーム】 やはり一定の事業者への誘致という意味でしょうか？土地以外であれ、誘致売買では、一時的な収支であり、その後に携われません。一部の売買は資金的に必要なかと思われませんが、長期的にみて、多目的に企画を持ち込んでくれる複数の事業者とのスキームを練らなければ、またいつかすたれるのではないですか？市と事業者と両方向から提案でき、常に新しい企画を構想し続けることが重要です。

【高速バス、空港リムジンバスの発着地】 来る人も行く人も、すぐ酒田を感じられる山居倉庫前で、観光や飲食、酒田の売りがすべて紹介されているようなブースが併設されていて、大型ロッカー（手荷物預かり）サービスなどがあることが理想です。

【安全・安心にあふれた街】 津波対策用非難棟も良いと思います。現状、川沿いは市役所や近隣学校の屋上が高所避難場所でしょうか？でも、常に開いてるの？事前に知っていないと慌てた状態で判断できないのでは？初めから避難棟という名前の施設なら安心なのでは？（例）地下に冠水対応施設、1階に災害時にも利用できるシャワー室などがある憩いの場、2・3階民間事業、最上階には避難所など・・・

⇒追案【未開の希望（でも強い希望）】 若浜地区の冠水改善に**新たな施設**、設備の検討をお願いします。

中の口橋から東大町までの冠水を防止する方法。新井田川の増水にも、街の排水機能にも対応できるような物が必要です。

再度、 観光の強化 → どうする？
飲食店街の活性化 → どうする？
シャッター街ストップ → どうする？

（前に記述したように）「目標や課題」からの矢印では結果は出ません。
自分たちが「どう生活したいか？」からの矢印で考え、
自然を感じ、健康づくりが出来る街にしたい。

だから、自分たちが健康に生活できるように、環境を整備し、
イベントを企画し、**他県からの集客**に力を入れ、
それによる、観光、飲食、商店の利用アップを**導き**、
市全体の**需要アップ**につなげる。

☆ 幅広い世代が、生涯、活躍できる街の実現！
⇒ 老若男女 ⇒ 長く ⇒ 健康

☆ 有名観光地とは異なるアプローチで、「ウリ」や「ターゲット」を明確に！
自然を活かしながら、イベントで、街を活かす。
⇒ 酒田の島・海・川 ⇒ スポーツやアウトドアとの相乗効果を狙う

《イベント企画例》

- ・ 飛島への観光往来とアピール企画
- ・ 海（釣り・体験学習企画）
- ・ ラジオ体操、ウォーキング指導
- ・ 海、川、街クリーン作戦
- ・・・etc

毎週末、少人数など、継続と参加しやすい仕組みとイメージづくりを考る。
慈善活動でも、少額参加費を提示し、アウトドアイベントとしての
イメージづくりで集客。二次需要にもつながる企画へ。

※既存のものにも新企画感をプラス！

例) お得企画： ¥500参加費で ¥800お弁当付き、クリーン活動
カフェ、居酒屋などにも、お弁当作成参加店舗を募集
お店の宣伝広告費や市の広報活動費などで差額算出 ・・・etc

例) 初めての自転車教室：
自転車は家の近所で親が教えることが多いと思いますが、いっそイベントに
ヘルメットの貸出、上記お弁当企画も合わせて ・・・etc

【 集める→集まる→回り出す→守れる】

□ 集める → スポーツ、芸術、なんでもOK。集めるためのプランと場所への投資。

私は、予想集客見込みなどを数字で検証するようなことは、もちろん出来ません。

しかし、おしんレースのように、看板となれるスポーツイベントを企画したい市町村は少なくありません。バレーボール企業が来た事で、話題性は増しました。希望ホールが新しくなり、今までにないアーティストや芸術作品が来るようになりましたが、スポーツは対戦相手として、倍の来市が見込めます。スポーツ関連がもたらす需要は大きく、若い世代が離れない理由にもなっていると思います。

場所さえあれば、企画が立ち、企画があれば、場所の有効利用は無量大です。

歴史的施設や固有の場所では、どうしても制限が出てきます。少ない条件で、自由な企画発想を実現できる場所への投資が必要です。

□ 集まる → 集まった人が、二次的にもたらす需要。宿泊、飲食、交通。未来への話題づくりと、それを長く続けていくための努力。

《観光をメインにした時と、イベントをメインにした時を、年代別に考えてみました。》

10代
観光 : 親と一緒に。子供も楽しめる観光場所は、いくつありますか？
イベント : 本人のためのイベントはもちろん、家族のイベントにも見学、同行として参加。

20代
観光 : 観光メインで、その時にやってるイベントを見学。
イベント : メインのイベントを十分に楽しみ、前後に観光まで出来てしまう充実ぶり。

30~50代
観光 : 旅行好き、温泉好き、ラーメン好き。日本全国ありすぎる。
イベント : 日々からの解放と趣味への没頭。もちろん、家族参加で思いっきり楽しむ事もあり。

60~90代
観光 : もう一度来たくなる街、他の旅行との差別化出来ますか？
イベント : 旅行に行きつくした方でも、印象に残る、思い出の街になれるかも。

少し、臆目なのは否めませんが・・・。

注目すべきは、他の観光旅行との差別化です。通常の観光旅行にも、メインになる場所や企画があるかどうかは、大きな決め手、魅力です。

□ 回り出す → 少しずつ定着。TVやネットでの広がり。他県やインバウンドへのアピール力。

交通が便利になれば、日帰り客も当然増えます。Youtubeなどでも「弾丸旅行」の見出しをよく見かけます。

そうなると、食事なら昼食だけでしょうか。ならば、その1食は、新規店舗（旧商業高跡地に誘致されるかもしれない）ではなく、中心街の既存店を利用してもらいたい。そして、近くの既存店でデザートを食べ、気に入ってもらい、お土産になり広がって、次の来客へと**つながる**。これが「回り出す」という事だと思います。人が集まり、売上があればいいものではありません。

観光では、移動のスムーズさも大変重要なポイントです。旧市街は大型バスの行き来が不便です。普段使いの市バスは観光用に本数を増やすことも難しく、移動ロスです。「歩いて健康イメージアップ!」「都会の方には自転車も久々の体験で新鮮!」
駅からぐるっと1本で結べる、分かりやすい市街を定着させ、ロスをロスに感じさせないことに**つながります**。

外国人にとって、日本は小さな国です。移動距離を短いと感じる方も多いそう。ならばあえて、**他県を含めたツアーモデル**を考えてみてください。また、外国人は、日本の歴史が大好きです。しかし、日本人なら、おとぎ話や言い伝えが古い慣習から理解できても、外国人にはさっぱり・・・なのです。そこで、「飛鳥が本土からどのように離れていったか?（神秘的要素）」「酒田舞妓や北前船が京都経由だった話（大観光都市とのつながりをアピール）」・・・などを分かりやすく、アニメや物語風に、外国人向けのコンテンツとして、紹介してみてもいかがでしょうか?日本の神話で地名度を高める取り組みは他県にも実績があり、アピール力につながります。

「ヒストリー」「アウトドア」「ヘルス」「ネイチャー」、新井田川を含めた企画にピッタリです

数年前「ブラタモリ」というTVが来ましたが、「雑学やうんちく」って楽しいんですよね。私も大好きです。タモリさん、伊集院光さん、武田鉄矢さん・・・など。観光に来て、「うんちくを見て聞いて楽しむ」のではなく、「うんちくで好奇心をそそり」観光に来たくなる。そんな情報媒体の使い方も構築してみてもいかがでしょうか?

加茂水族館はクラゲに特化し、全国的に有名になりました。幅広くではなく、何かに特化した物、意外な切り口から、マニア的要素こそが**差別化**され、**注目**されるのです。

□ 守れる → 歴史保存のための資金。そこに住む人達の健康と生活を守り、代々住み続ける土地へ。達成。
名立たるスポーツ・コンサートなどのイベントでは、「有名な観光名所を横目に」とか、「大山の麓で」とか、名所をあえて選んで行われ、紹介されています。名所、観光がメインでなくても、それらの輝きは失われません。逆に、注目されるキッカケにさえなっています。

日本人、酒田人は、古いものとずっと一緒に暮らしてきました。根本的に古いものの良さを知っています。
だから、「古き良きものを活かしながら・・・うんぬん・・・」と構想に前置きを付けなくても、大丈夫なんです。
日々の生活改善を優先にした取り組みからでも、後から、ちゃんと古いものも守っていけます。私は、そう信じています。

【最後に】

- ・「観る」だけから「体全部で感じる」へ
 - ・史跡を常に身近に、集まる場所がある喜び「にぎわい」
 - ・山居倉庫と新井田川対岸は相互にみる場所、見られる対象のため、その関係を大切にしたい景観づくりを進める
 - ・市内外を問わず、多様な世代が訪れたいと思う個性的で魅力的なエリア
 - ・市街地への玄関口としてのポテンシャルを活かした集客・新たなビジネスモデルの構築と実践
 - ・観光客だけでなく、市民が日常的に利用し、生活利便性が向上する機能
- ⇒市の構想（案）より、キーワードと共通した理念をいくつも組み込みました。

すべてアバウトで個人の希望を書き連ねたにすぎませんが、酒田の豊かな未来を願って書きました。
今までと同じ立ち位置から目をこらしても、変わって見えるものはありません。ガラッと変える勇気が必要です。

すでに構想が出来、動いていることは重々承知いたしております。
2027年まで、第二、第三と見直しの機会があるのなら、是非取り入れていただきたいと思います。